

令和4年度 英語研修6（スピーキング）報告書

【開催日時】 令和5年2月7日（火）・8日（水）

① 7日 10:00 ～ 11:30

② 7日 13:30 ～ 15:00

③ 8日 10:00 ～ 11:30

④ 8日 13:30 ～ 15:00

（各回のプログラムは同じ）

【開催場所】 WEB（Zoom）

【講師】 梅村綾子（名古屋大学博物館 特任助教）

【参加対象者】 大学の技術職員、技術支援員（パート、派遣等含む）

【定員】 各回3名

【目的】 大学や研究機関でのグローバル化に伴い、技術職員が留学生や海外研究者の対応を行なう機会が増している。本研修では、留学生との英語コミュニケーションの練習を中心に行う。

【プログラム】

KYT（危険予知訓練）を利用し、指摘・提案・意見の述べ方を学ぶプログラムを実施。

指摘・提案の仕方などのレクチャーを受け、その後実践として、KYTの画像（実験等の絵や写真）を見ながら作業に潜む危険を英語で指摘、改善策の提案をした。その後、指摘箇所について自分の意見を述べる練習を行った。

- ・自己紹介（15分）

- ・KYTを使った指摘・提案・意見の述べ方の練習（60分）

- ・レクチャー1 指摘・提案の仕方

- ・実践1 危険だと感じる箇所を指摘し、改善案を提案してみよう

- ・レクチャー2 意見の述べ方

- ・実践2 一番危険な箇所について意見を述べよう

- ・まとめ（15分）

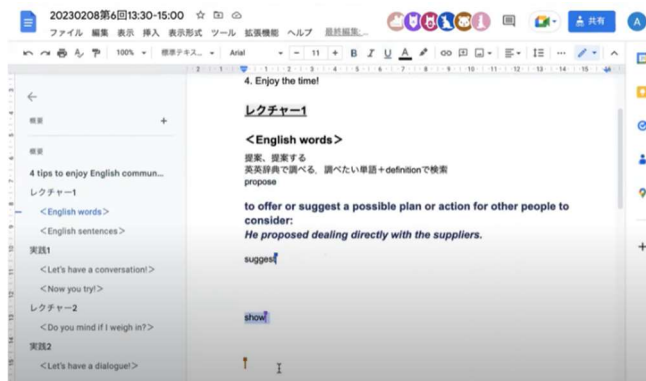
【参加者】 12名

【報告】

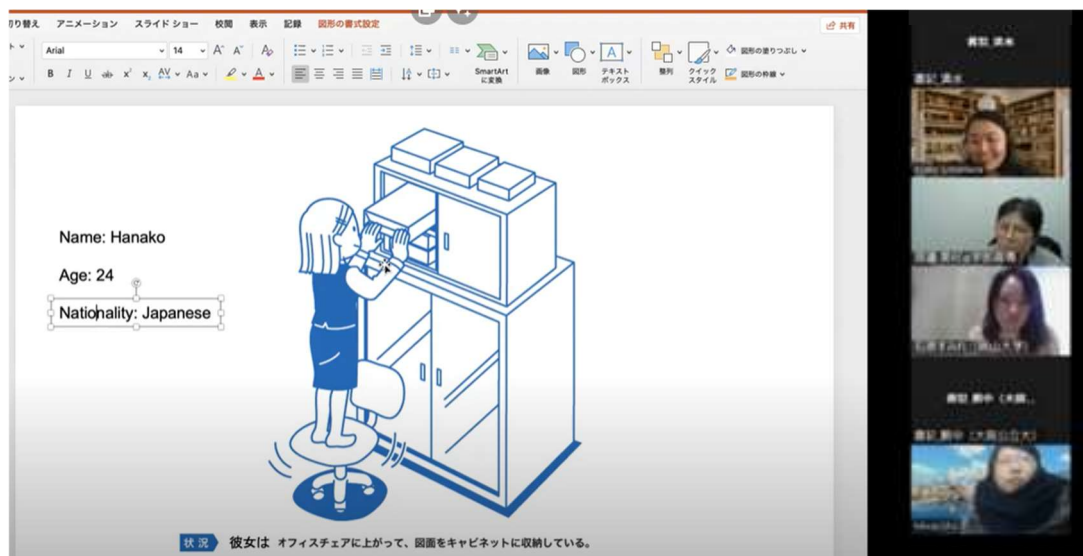
初歩セミナーとして初心者の方を対象のセミナーとして、レクチャーをいれながら学ぶプログラムを実施した。実際に、参加者12名のうち6名が初めての参加者であり、これまで英語研修の参加に二の足を踏んでいた技術職員の参加を促すことができたといえる。レクチャー部分を日本語対応にしたことで、質疑応答のハードルが下がり、より理解を深めることができた。留学生対応のある技術職員にとっては、業務へ活かすことのできる研修であった。

【当日の様子】

レクチャー 1

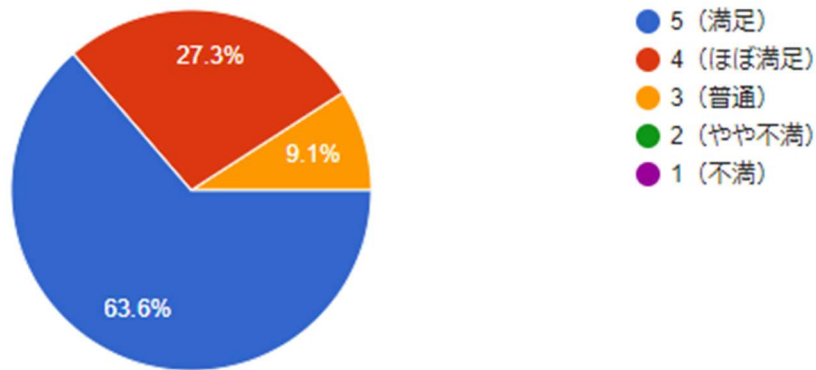


実践 1



【アンケート結果】回答数 11

研修の満足度



研修の良かった点

- ・少人数で英語を口に出す機会が多かったこと、同義語やその使い方の違いを知ったこと
- ・同じような単語の意味が、英英辞書を使うと分かりやすいということを教えていただいた
- ・KYT カードの活用
- ・日本語での説明があるとのことで安心して受講でした。
- ・英語を上達させるコツをしっかりと説明していただけること。
- ・KYT を通して意見の述べ方の表現を学習することができたこと
- ・講師の先生が、参加者の英語力に合わせて気を使って頂いたことに感謝です。当方が発声した不出来な英語、不十分な英語に対してすぐに指摘をして頂くことは、私が語学のトレーニングをおこなう方法としてはたいへん合っていると気付きました。
- ・少人数のやり取りの中で自分の考えていることが整理できました。
- ・カタコトを自然な表現にいかに寄せるかという点において、実践的であったところ。
- ・他の方の解答から学ぶところが多い点。自分で学習しているだけでは出てこない気付きがあります。
- ・拙い英語であっても講師が肯定的に対応してくださり、またもっとよくなるようにアドバイスを頂き大変勉強になりました。

今回の研修はご自身の業務にどのように役立ちそうですか？

- ・外国人の機器利用者の方に注意点などを伝える場面で役立ちそうです。
- ・外国人対応の時の参考になる
- ・危険時の予測対応
- ・自分の弱点が分かったので、そこを改善したら、留学生とのコミュニケーションに役立つ

と思いました。

- ・英語でしか対応できない留学生の対応件数が増加しており、機器分析の指導は英語で行う英語で自分の意見を述べる時の参考になりました

- ・伝えたいことを伝えるための英文を作る、英文のお作法を守る、1つの表現に似たような単語がいくつかあり、どれを選ぶかで同じだったり、ニュアンスが異なったりするということを学ぶことができました。今後の英文執筆や英語での研究発表に役立てたいと思います。

- ・留学生と会話する際の言葉選びの向上に役立つと思いました。

- ・研究室支援業務や共通機器運用等の場面で、外国人ユーザーとのコミュニケーション。

- ・英語を口に出すハードルが少しずつ下がってきていると思います

- ・とっさに業務に必要なになった際に困らないよう、勉強しておく意欲がわきました。

今回の研修の感想・改善点や、今後の技術英語研修に期待することなど

- ・大変勉強になりました。先生がポイントを解説してくれるので分かり易く、楽しんで受講できました。あっという間に時間が経ち、もう少しがあれば良かったと思いました。もう一つ似たような課題の図があれば、指摘された点を修正して上手く話してみたかったです。以上、ありがとうございました。

- ・前は、英語しか話せない感じでしたが、今回は、日本語で話す事が多く、回によってかなり違うことがわかりました。前回と比べると、今回は資料の準備があまり無くて楽でしたが、前回の方が、色々な装置の紹介を他の参加者の方々がしてくださり、興味深い内容でした。今後、対面での研修も予定されているとお聞きしていますので、実際にお会いできるのを楽しみにしております。

- ・主は英語研修ですが、KYT カードを教材活用する場合、題材が危険予測なので、英語も言いたいことを単に日本語から変換するだけではなく、watch out や Get down 等端的な注意喚起を先に言って事故防止を優先し、その後にこういう理由であぶないから〇〇しろの提案の方が良いかなと思いました（理系実験では危険な作業も伴うため）。

- ・英語研修と言われるとなかなか参加しづらかったのですが、今回どんな雰囲気かわかることができて良かったです。ありがとうございました。

- ・日常で英語を使用しない、仕事で英語での指導を行っていないなどの理由から、単語の定義と文法の活用法について、技術指導で活用できそうなことを復習する機会となってよかった。

- ・WGの方が書記を担当して下さったので、自分では書き留められなかった表現も資料としていただけたことがとても良かったです

- ・今回、参加するにあたって全編英語でのレクチャーかもしれないと、事前にかなり緊張していましたが、私の英語力に合わせたレベルにして頂いて助かりました。

- ・実際話してみて基礎的な文法が抜けていることに気づけて良かったです。90分はちょうどよい長さだと思います。

- ・個人的に研修を受ける前の準備が不足だなと思ったので、次回受ける機会があれば十分に予

習して臨みたい。

- ・今回は日本語でもいろいろ質問できたのが良かったです。

- ・先に回答したように、この研修では他の参加者さんから学ぶところが多いので、今回お一人
が途中で音信不通になってしまったのが残念でした。

- ・今回参加者同士の英語のレベルが極端に変わらず、質問もしやすく感じました。（英語が得意な方とご一緒だと、「こんなことを聞くのは・・・」とためらってしまうので）次回も、参加者のレベルが近い方だと有難く思います。